

～愛媛の最南端から柑橘経営で躍進する農業法人～ 武田 敦年さん(愛南町(旧御荘町))

(株)みかん職人武田屋 代表取締役 1971 年生まれ
ホームページ www.takedanouen.com



☆経営概況

特産の「河内晩柑」を中心としたかんきつを生産し、シルバー人材を有効に活用しながら地元雇用を行いつつ、経営面積 26ha の法人経営（平成 8 年法人化）を実現。宅配による直接販売を柱に 6 次産業化にも挑戦（正社員 8 名、パート 10 名）

☆ここがポイント

■自ら顧客を開拓し直販事業へ

父親の時代から法人化し、旧御荘町でも大きな農家でしたが、平成 12 年に J A を脱退し、自ら顧客を開拓し宅配を活用した直販事業を柱にしたことが転機となりました。また、「子供たちは武田屋の未来の顧客である」という思いから学校給食にも挑戦し、品種を選択し生産拡大へと進みました。

■徹底した生産性向上へのこだわり

元々あった段々畑はブルドーザーで平らにして作業性を高め、新しく開拓する農地は 1ha 以上まとまり、かつ平らな土地を求めています。その結果、ほぼ全園で乗用の草刈機と肥料散布機、スピードスプレーヤの使用が可能。また、同社で所有するドローンの映像を利用した施肥管理や狭小な空間まで作業できるラジコン式草刈機などにより、私を含め 2 人で主な園地管理はこなせるようになりました。

■6 次産業化（加工事業）は 1 割程度

学校給食へは、当社でカット・個包装して納品。ジュース・シャーベット・ゼリーなどの加工事業にも取り組んでいるが、あくまで青果が勝負。原材料を購入する大手の加工業者の真似はしません。

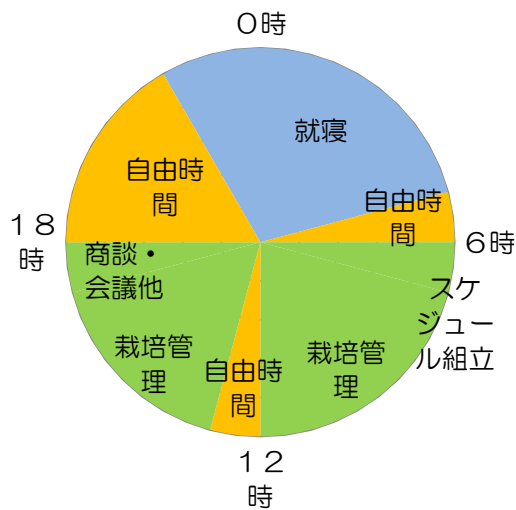


会社の正面玄関から



視察も多くラジコン式草刈り機の実演

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

学生時代からマラソンを始め、松山のクラブチームでクラブ駅伝県優勝も経験した。マラソンは、**2時間30分で走破**したこともある。

現在は、仕事が忙しくスポーツする時間がとれないが、日頃仕事で体を動かしており、**ストレス発散も仕事**です。(笑)

長男であり地元に残るのが使命なら、一度は外へ出たいと思い、高校から松山へ進学し、大学も松山で暮らしたが、やはり地元が好きだった。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日	
[繁忙期]	← 収穫・出荷 →					← 休日 →	
[普通期]	← 栽培管理 →					会社なので日曜日のみ休日	← 休日 →



一ヶ所で5haを超える園地



学校給食用にカットしたみかんを個包装

☆これからの夢や目指すもの

「**作ったものを売る**」のではなく「**求められるものを作る**」ためには、本物の味をいつまでも追及していく。そうすることによって、会社も元気になり、地域雇用も今以上に実現できると思います。

一般的に言われる「**農業が厳しい**」という言葉は、やり方次第で変わられます。

☆メッセージ

愛南育ちの若い人、県内育ちの若い人は、県外に出るのではなく、ともに愛南町や愛媛県の素晴らしさを伝えていきましょう。